

開催要項

第40回 園長研修会

日時 令和8年7月7日(火)・8日(水) ※7日14時開会・8日15時半閉会予定

会場 1日目(7月7日)

ホテルマリターレ創世久留米
福岡県久留米市東櫛原町 900 TEL: 0942-35-3511
JR 久留米駅・西鉄久留米駅より車で約7分
(無料駐車場有)

2日目(7月8日)

荘島幼稚園
福岡県久留米市小頭町 4-2 TEL: 0942-34-0810
JR 久留米駅・西鉄久留米駅より車で約10分
(駐車場は台数に限りがあります。申込時に受付)

対象 総幼研加盟園理事長、園長、施設長、後継者、その他経営にたずさわる方
※特に2日目公開保育はそれ以外の先生でも参加可能ですが、対象層を想定した研修内容となりますこと、ご了承ください。

参加費

A - 全日程

38,500円(税込)
1日目懇親会・2日目昼食付き

B - 1日目(7月7日)のみ

27,500円(税込)
1日目懇親会付き

C - 2日目(7月8日)のみ

16,500円(税込)
2日目昼食付き

※上記金額に宿泊費は含まれません。宿泊に関してはオプション申込か、各自ご手配をお願いします。

オプション

宿泊費(7月7日宿泊・ホテルニュープラザ久留米)

- ① シングル(シングルルーム) 9,000円
- ② シングル(ダブルルーム1人利用) 10,500円
- ③ シングル(ツインルーム1人利用) 10,500円
- ④ ツイン(1名あたり) 8,500円

※税込、朝食付き。満室になり次第締め切ります。
※8日朝、ホテルから荘島幼稚園へバスを運行予定です。

日程 1日目(7月7日)

- 13時30分 受付開始(ホテルマリターレ創世久留米)
- 14時00分 開会式
- 14時30分 記念講演
- 16時00分 トークセッション
- 16時30分 社員総会
- 17時30分 休憩
- 18時00分 懇親会
- 20時00分 終宴

※宿泊オプション利用者はホテルニュープラザ久留米まで送迎

2日目(7月8日)

- 9時05分 会場移動(ホテルニュープラザ久留米→園)
- 9時15分 受付開始
- 9時45分 公開保育
- 12時00分 昼食・休憩
- 12時45分 保育セッション
- 13時55分 シンポジウム
- 15時20分 閉会式
- 15時30分 終了・解散

(終了後、園→JR久留米駅まで送迎 ※10分程度)

STEP 1

本部事務局宛に申し込み

総幼研ホームページよりお申し込みをお願いいたします。



※申込締切
6月23日(火)

STEP 2

本部事務局より 申し込み内容確認のご連絡

申込時にご記入のメールアドレスに、申込後3日以内に、本部事務局より申込内容の確認・振込金額・振込先の情報をお送りします。

STEP 3

参加費のお振り込み

メール内容に不備がないかご確認の上、6月30日(火)までにお振り込みください。

※7月1日(水)以降のキャンセルは、返金できかねますのでご了承ください。

申し込み方法

令和8年度-2
研修会のご案内



2030年の幼児教育に挑む!

— ことばをはぐくみ、人を育て、社会とつながる総幼研教育 —

第40回 園長研修会

福岡県
久留米市

令和8年7月7日(火)・8日(水)

会場 7日(火)▶福岡県・ホテルマリターレ創世久留米 | 8日(水)▶福岡県・荘島幼稚園

※社員総会を併催します。研修会を欠席の場合でも委任状をご返送ください。

一般社団法人 総合幼児教育研究会



石井光太様による「幼少期にはぐくまれる『ことば』のたいせつさ」を紐解く講演と、伝統と共に「仏教保育」と「総幼研教育」を推進される荘島幼稚園の公開保育。セッションやシンポジウムを通して、外部環境の変化の中で「教育の価値を問われる時代」に向き合う2日間、たくさんのご参加をお待ちしています。

来る7月7日・8日にかけて、第40回園長研修会を開催いたします。

1日目はホテルリタール創世久留米を会場に、記念講演ではノンフィクション作家・小説家・コメンテーターの石井光太様をお招きし、「幼少期にはぐくまれることばの力と、その後の学び・人格形成とのつながり」という観点からお話しいたします。

2日目は九州支部支部長園・荘島幼稚園にての公開保育です。教育への熱い思いと共に弛まぬ研究・

研鑽に励まれる荘島幼稚園の、最前線の現場をご覧ください。午後は、公開保育の内容を紐解く保育セッションと共に、少子化や幼児教育3法の改訂といった外部環境の変化をふまえ「いま本当に必要な教育とは何か」をテーマにシンポジウムを行います。

社員総会も併せて開催いたします。総幼研会員園の園長先生方が、一堂に会する貴重な機会です。多数のご参加を心よりお待ち申し上げます。



2日目
午前

公開保育 荘島幼稚園

今回の園長研修会・公開保育は、荘島幼稚園にご担当いただきます。総幼研九州支部長を長らく務められている園長堤孝雄先生のもと、戦後から続く「仏教保育」の歴史と、後に導入された「総幼研教育」の両輪が溶け込む荘島幼稚園の、先生と子どもたちが織りなす「教育の変わらない本質」をぜひご覧ください。



園からのウェルカムメッセージ

昭和25年、空襲後、焼野原となった久留米の地に平和への願いを込めて誕生した荘島幼稚園は今年度77年目を迎えます。いまは亡き秋田光茂先生との仏縁を頂戴してから早33年となります。これまで総幼研の諸先輩方のお導きを受け歩んで参りました。

いま、日本は止まることのない少子高齢化、人口減、地方の衰退、一方ではAIの著しい進化…、社

会構造が大きく変化していく時代に生きる子どもたちにとって、本当に必要な力は何か、幼児期に身につけるべき力、幼児期でなければ身につかない力とは何か、今回の公開保育の御縁を機に、「不易流行～変わるべきものと変えてはならないもの」を有縁の皆さま方と共に考える場となれば幸いです。皆さま方のご来園をお待ちしております。

1日目

記念講演

「幼少期のことばがひろく、一生の学びと人間性」

講師

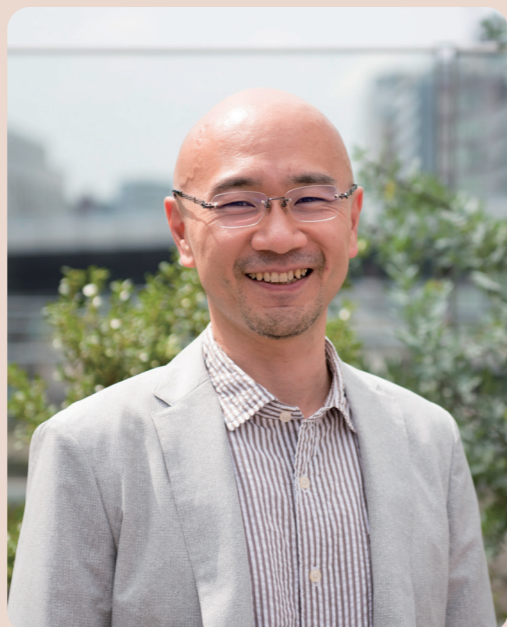
石井 光太 様(ノンフィクション作家・小説家・コメンテーター)

現代の子どもたちの間で、感情や思考をことばで整理する力の格差が広がっています。国内外の事件や教育現場を徹底して取材されてきた石井様は、『ルポ 誰か国語力を殺すのか』の中で、豊かな語彙に裏打ちされた情緒力や論理的思考力こそが、社会を生き抜くための基盤であると説きます。

本講演では、幼少期にはぐくまれる「ことば」がいかにより一生の学びや人間形成の土台となるのか、現場取材の見聞から論じていただきます。私たち総幼研がたいせつにしている理念と実践の価値を、ノンフィクション作家ならではの鋭い視点と圧倒的な現場感から捉え直す貴重な機会です。

講師紹介

石井 光太(いしい こうた)様……1977年、東京生まれ。国内外の貧困、災害、事件などをテーマに取材・執筆活動を行う。2021年に『子どもホスピスの奇跡』で新潮ドキュメント賞を受賞。他の著書として『遺体 震災、津波の果てに』『43回の殺意 川崎中1男子生徒殺害事件の深層』『ルポ スマホ育児が子どもを壊す』など多数。『ぼくたちはなぜ、学校へ行くのか。マララ・ユスザイさんの国連演説から考える』など児童書も多い。新著に『少子化に打ち勝った保育園 熊本「やまなみ子ども園」で起きた奇跡』(新潮社)。



著書



1- シンポジウム

～ことばをはぐくみ、人を育て、社会とつながる総幼研教育～

加速する少子化、AIテクノロジーに伴う教育観の変化、また迫る幼児教育3法の改訂もあり、まさに「教育の価値が問われる時代」の到来といえます。総幼研の次代はいかにあるべきでしょうか。2日間の園長研修会の締めくくりとして、遠くまで近い2030年を見通した議論の場とします。

2日目
午後

登壇

- 川俣 美砂子 先生(中村学園大学短期大学部幼児保育学科教授)
- 堤 孝雄 先生(荘島幼稚園園長、総幼研九州支部長)
- 秋田 光彦 先生(総幼研会長、パドマ幼稚園園長)

講師紹介



川俣 美砂子 先生(中村学園大学短期大学部幼児保育学科教授)……幼稚園教諭として12年間勤務後、専門学校、短期大学、国立四年制大学等に勤務しながら、福岡教育大学修士課程修了、九州大学博士課程単位修得満期退学、高知大学博士課程修了。2023年4月より現職。研究テーマは、保育者のキャリア形成、保育者のバーンアウトと生活リズムの関係、子育て支援活動による学生の学びなど。保育者がやりがいを持って長く働けることを願い、研究を続けている。

2- 保育セッション

～荘島幼稚園の保育を、語る～

当日午前の公開保育の内容をふまえ、いままに行われている荘島幼稚園の保育実践について、紐解きます。

登壇

- 古賀 美咲 先生(荘島幼稚園年長学年リーダー)
- 大楠 早記 先生(荘島幼稚園年中学年リーダー)
- 一木 七緒美 先生(荘島幼稚園年少学年リーダー)
- 浜田 智峰 先生(総幼研インストラクター)